

子供宝也

No.8

平成 25 年 5 月 31 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

体育大会直前情報 の 2

1年：フリフリマンボ

「チャチャマンボ」。曲名からしてかわいいですね。何をしてもかわいい1年生ですが、本番を楽しみにお待ちください。ただ、先生は大変そうでした。「まっすぐならんで〜」「大きく〜」「列〜っ！」…大きな声で指示をして、息が切れています。そんなことはおかまいなしの1年生。ニコニコ、ニコニコ、マイペース。私が見る限りでは、子どもたちより先生の方が運動量が多かったように見えました。(教頭)

6年：組体操 ～挑戦～

顔が変わってきました。笑顔が消え、白い歯が見えなくなり、おしゃべりがなくなりました。心地よい緊張感が体育館に流れます。それぞれの技の出来栄も立派なものになってきました。一つのを創り上げるため、全員の心が一つになっているように感じられました。正直に言うと、何日か前まで、にやにやしたり、だらだらしたり、言い合いをしたり…こんなことの連続でした。ここへきて、ようやく6年生らしくなってきたなあと感じます。

先生方も心配して、15人ぐらい集まってくれました。励ましたり、補助したり、休んでいる子どもの代わりに土台になったり、学校挙げての注目種目となっています。こんなに大きな期待を背負った6年生。素晴らしい演技を期待しています。

応援団

児童集会の時、応援合戦の練習をするということだったので、見に行きました。実は、大学の時、応援団に在籍していたこともあったので、応援合戦は大好きです。でも、大学生とは違って、子どもたちは、みんなとても上品です。(あたり前ですが…)紅組も白組も応援団長の号令に合わせて一糸乱れぬ？応援を繰り広げていました。今年は、応援合戦にも得点が入ります。紅白対抗戦の命運をにぎるかもしれません。さあ、どっちが勝つのでしょうか？これまた楽しみです。

悪いクセ

音楽室をのぞくと**5年3組**がリコーダーの学習をしていました。普通のミから1オクターブ上のミに急にとんだりする部分はとても難しいようでした。左手の親指で指穴を半分だけふさがなくてはならず、たくさん子どもたちが苦勞していました。子ども同士で教えあったり、自分の世界に浸りきって練習したり、よくがんばっていました。

そのなかで、5人ほど、ほとんど指が動いていない子どもを発見。悪いクセで、つい、「校長先生が教える。」とか言ってしまい、帰りに校長室へお招きすることになってしまいました。教えるなどといっても、私の場合、子どもたちと触れ合いたいというのが本音なので、私も一緒にリコーダーを吹いたりしながら、他愛もない話をしたりしていました。そんななかでも、子どもたちは少しずつ上手になっていきました。たいしたモンです。

でも、いけませんね。ちゃんとした指導は、やっぱり音楽の先生ですから、わるいクセを反省しているところです。